

## 第191回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会議事録

会長・宇佐神

日時：2014年9月1日（月） 18:00-20:00 場所：学士会館308号室

出席予定：佐藤、新川、辻井、山本、宇佐神

欠席連絡：遠藤、井上、古山、長塚、緒賀、望月

## 1. 2014年10月以降の例会等の日程：

- ① 10月6日(月) 18:00-20:00 学士会館308号室
- ② 11月3日(月・祝) 18:00-20:00 学士会館308号室
- ③ 12月1日(月) 18:00-20:00 学士会館308号室
- ④ 1月5日(月) 土曜昼食会の予定
- ⑤ 2月2日(月) 18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑥ 3月2日(月) 18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑦ 4月6日(月) 18:00-20:00

## 2. 議事：

- 1) 報告：第一回土曜昼食会の報告：8月9日(土) 12:00-15:00

会場：サイゼリア・上野広小路店(台東区)(東京都台東区上野2-7-12 鈴木ビル2Fにて

参加者6名：井上、佐藤、辻井、長塚、望月、山本、宇佐神

長塚氏の現状報告と佐藤、宇佐神両会員の報告を下に、話し合いが持たれた。

また、望月氏が『21世紀の経営について』の原稿作成のための担当原案の作成に当たる。

## 2) 本日の議事

- ① 『21世紀の経営について』原稿作成のための担当原案作成（担当望月）の確認。

- ② 10月例会における報告者は

井上真由美氏（高崎経済大学）「大会における発表をもとに」。

- ③ 11月例会の発表者：

山本氏：水野和夫『資本主義の終焉と歴史の危機』をめぐって。

## 3 本日の研究予定：

- ① 望月氏『21世紀〈経営の倫理〉』の原案は、急用で欠席のため、次回に検討する。

- ② 『21世紀〈経営の倫理〉』の全体構想の前提としての経営の概念をめぐって：宇佐神

政治における経営責任：本学会では、経営倫理を企業倫理と同義に用いてきたが、ビル・トッテンの指摘を待つまでもなく、21世紀においては、国際関係における政治の在り方が、国民生活と企業のあり方を規定している。この点から、まず政治の経営倫理が問い直されなければならない。

ビル・トッテンは『課税による略奪が日本経済を殺した』を出版（2013.2.28）し、消費税が輸出関連の1%の大企業に益をもたらすために、99%の国民からの消費税による略奪と、富裕層の減税等と銀行による積極的な信用創造が長期にわたったデフレの原因であったと指摘する。それは、前川レポートを起点としてもたらされた日本の税制の改変により、日本経済が殺されたことでもあった。彼は、このことをもろもろのデータをもとに提示し、今後の税制改正の在り方と、国民が地域共同体のなかで共助を中核として生活を展開すべきであるとの考えを示した。

今回は、ビル・トッテン氏のサイトの末尾掲載の講演要旨（「本当はもっとよくなるニッポンの未来」2014.2.28、資料として添付）をもとに彼の考えを紹介し、これを中心に論議が展開された。

以上